

社会保険労務士 石渡 弘則（いしわた ひろのり）



1966年生まれ/東京都出身

【学歴・職歴】

昭和63年3月 慶應義塾大学商学部卒
(藤澤ゼミ (社会保険論))

昭和63年4月 東レ(株)就職

令和3年5月 東レ(株)退職

令和3年6月 i.d.r.石渡社労士事務所 開業

令和6年1月～令和7年6月

全国社会保険労務士会連合会

「ビジネスと人権」部会委員 受嘱

令和6年3月～令和7年2月

働き方改革推進支援センター 登録

【HP】

<https://idr-sr.com/>

【資格など】

平成29年1月 第1種衛生管理者 取得

令和元年10月 社会保険労務士 登録

令和4年3月 社労士成年後見人 登載

令和5年7月 産業カウンセラー 登録

令和6年8月 心理相談員研修（中央労働災害防止協会）修了

令和6年9月 両立支援コーディネーター基礎研修（独立行政法人労働者健康安全機構）修了

令和7年4月 監理責任者等講習（外国人技能実習制度関係者養成研修）修了

令和7年6月 外国人雇用管理主任（外国人雇用支援センター）登録

令和7年9月 キャリアコンサルタント 登録

【活動フィールド】

- ・「ビジネスと人権」・人権DD支援
- ・「働き方改革」支援
- ・「心理的安全性」の構築による労働生産性の向上支援

【私の想い】

会社員生活33年間、組織の中で働いた経験から、労働生産性の向上には「心理的安全性」、「ワークライフバランス」、「ビジネスと人権」は、どれも切り離して語れないと考えています。また、この3つに優先順位もつけられないと考えております。

日本の労働生産性はOECD諸国の中で下位です。企業のますますの発展の為に、その企業の労働生産性の向上を一緒に考えて参りたいと考えております。

日本は人口減少時代に入っています。今まで誰も経験したことのない世界であり、外国人労働者との共生も考えていく必要があります。

【将来の夢】

- ・六甲山のガイド
- ・『重五郎梅』の継承